

青葉台が里山だったころ

絵本『でんえんとしさとやまっ子』を読みながら

青葉台の駅ができた昭和41（1966）年ころ、周囲には田畑や雑木林の里山が残っていました。

子どもたちは、泥んこになって遊んでいました。

あのころを振り返り回想しながら、人と里山、子どもと自然など話してみませんか。



日時：7月10日（水）13：30～15：00（休憩を含む）

場所：青葉台地域ケアプラザ 多目的ホール

話題提供：吉武美保子氏・石田周一氏（NORA 理事）

対象者：どなたでも（青葉区在住の方優先）

持ち物：マスク着用にご協力ください

定員：30名（事前申込制・先着順受付）

申込：6月10日（月）10：00～電話にて

問合せ：青葉台地域ケアプラザ 045-988-0222

主催：NPO 法人よこはま里山研究所 NORA

共催：青葉台地域ケアプラザ